



「深く考え進む」ということ

広島大学長 田中隆莊

新入生諸君、入学おめでとう。

平成2年度学部学生、大学院学生の諸君を迎えることができたことは、広島大学の大きな慶びであります。

諸君は、広島大学で学ぶことを志し、努力を積んで、めでたく本学の学生となりました。諸君の意欲を心強く思っております。諸君の今日を心待ちにして、諸君を支えられた御家族、先生方、友人、周りの方々に、諸君とともに、心からお礼を申し上げたいと思います。

諸君は今日から、広島大学生であります。その広島大学は、さきの太平洋戦争後の学制改革によって、旧制度の大学を含む九つの高等教育機関を母体として、創設された総合大学であります。母体となった旧制度の各高等教育機関は、それぞれ長い歴史と伝統を持っておりました。広島大学は、それらに新たな学問分野を増設し、それぞれのうえに歴史を積み上げて、今日の11学部とその大学院を擁する、全国有数の学問の府として、大きな責務を担っております。諸君には、その広島大学生として、思う存分に学び、志を立てて研さんを積んでもらいたいのであります。

諸君はこれから、まず、一般教育を勉強します。広島大学はこの一般教育を極めて大切に位置づけております。この一般教育では、専攻を同じくする人だけでなく、志や目的を異にする人に出会うことができます。いろいろの人とめぐり会い、語り合い、触発し合って、自らの理想を高め、感性を培うことができる、最も恵まれた時期であります。

その一般教育で特に期待したいことは、科学的に見る力をつけることでもあります。科学的に見る力とは、広く何ごとにつけて、実証的に、合理的に、さらに体系的に見る力のことであります。この科学的に見る力は、諸君が次に進む各専門分野において、学問を真に習得するために重要であり、さらに将来、社会において活動するときの基盤となるべきものであります。

諸君が広島大学生として、この二度とない時期を有意義に過ごすために、諸君に「深く考え進む」ということばを贈りたいと思います。人間は物事に対峙し、思索し、知識を深めることによって進歩します。物事について、深く考え進むことができるのは、人間の特質であります。人間は大自然の中では、ただか一本の葦のように弱い存在にすぎません。しかし人間はそのとき、周りのさまざまな物や事、すなわち事実や現象を把握して、それをもとにして深く考え進み、真実や道理を知ることができます。この深く考え進む特質によって、みずからの弱さを克服することができる生物であります。大学で、あるいは日常の読書や語り合いで、それぞれの言わんとするところをじっくりと考え、一步踏み込んで、その内容が自分の知識とくらべてどう違うかを判断し、新たな知識や認識とすることができるか否かは、自分自身による消化、すなわち自分自身で深く考え進むことに頼らねばなりません。先に述べた、科学的に見る力は、この深く考え進むことによって養われ育つものであります。

大学は学問の場であります。今日から始まる大学生活の一日一日を、諸君自身が自主的に、勇気を持って、広く、なんでも、進んで学んでほしい。諸君の清新な燃え立つ気概をぶっつけ合って、広島大学生として毎日が充実した日になるように祈っております。

あらためて、入学おめでとう。諸君を心から歓迎します。